

2012年6月28日
株式会社アサツー ディ・ケイ

2011.9.11 から、様々な想いを抱え迎えた 2012.3.11 追悼式までをおさめた、 第43回講談社出版文化賞「写真賞」受賞者の写真集第2弾を刊行 『南三陸から vol.2 2011.9.11～2012.3.11』

株式会社アサツー ディ・ケイ（本社：東京都中央区 代表取締役社長：清水與二 以下 ADK）は、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県南三陸町で、震災後から現地の様子を撮影し続けている佐藤信一さんの写真集『南三陸から vol.2 2011.9.11～2012.3.11』を刊行します。本書は、昨年9月に刊行された写真集『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』の第2弾となります。

なお、この写真集一冊につき300円を寄付します。さらに利益が発生した場合はその全額を南三陸町への支援金として寄付します。



<写真集概要>

『南三陸から vol.2 2011.9.11～2012.3.11』

著者：佐藤信一

オフィシャルサイト URL:

<http://www.minamisanriku-kara.com/vol2>

体裁：B5判／96ページ

刊行日：2012年6月30日

定価：1,500円（税別）

*1冊につき300円を南三陸町に寄付。

発行：ADK 南三陸町復興支援プロジェクト

発売：日本文芸社

『南三陸から vol.2 2011.9.11～2012.3.11』

震災後、宮城県南三陸町が初めて迎える秋、冬。本写真集からは、少しずつながらも歩みを進める南三陸町とそこに生きる人々の姿を目にすることができます。写真が伝える復興への道筋は、私たちに、そして南三陸町の人々に「なつかしい未来」を思い描く、「希望」となっているようにも感じられます。

最新作(第2弾)『南三陸から vol.2 2011.9.11～2012.3.11』について

第1弾の続編として、2011.9.11 から、様々な想いを抱えて迎えた 2012.3.11 の追悼式までを記録した写真が綴るフォトエッセイです。本写真集は、故郷と大切な人々の姿を未来に残す希望の写真集であり、10年スパンの復興に際し、求められるのは「つづいていくこと」であるという考えのもと、刊行しています。

断片的な情報をショッキングに伝えるのではなく、被災地の本当の姿を伝える取り組みとして、今後も、継続的・定期的に佐藤信一さんと現地の方々のご協力を賜りながら「南三陸から」を発刊していく計画です。

第1弾『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』について

東日本大震災で失った物や失った人を、悼みながらも前へ歩もうとする南三陸町の人々。そんな彼らと故郷の姿を2011.3.11～2011.9.11の半年間、自らも被災者である佐藤信一さんが撮り続けた写真集です。なお同書は、震災に対する悲しみや怒りを淡々と表現し、同じ被災者であるからこそ撮り得たよそ行きではない人々の姿の写真が評価され、第43回 講談社出版文化賞「写真賞」を受賞しています。



<著者プロフィール>

1966年、宮城県本吉郡南三陸町生まれ。親子二代、南三陸町で写真館「佐良スタジオ」を営んでいたが、2011年3月11日、東日本大震災の津波により自宅及び写真館を失う。「一番苦しいときの写真を残す。この先、何が起きても、みんなが乗り越えられるように」と、唯一持って逃げたカメラで地震直後から失われた街が元通りになるまでの道のりを現在も撮りつづけている。

<参考:『南三陸から vol.2 2011.9.11～2012.3.11』 写真集収録内容>



【大晦日の満天の星空(志津川小学校)】



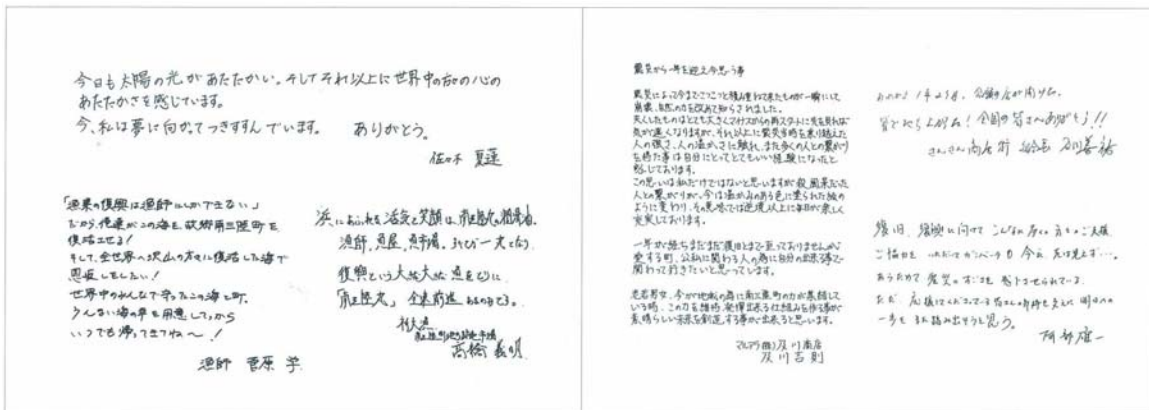
【震災前に撮影された南三陸町の写真を眺める子どもたち】



【追悼式で合掌する人々(2012年3月11日)】



【千葉のり店に貼られたメッセージ】



【現地の方々による直筆メッセージ】

<参考:第1弾『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』写真集収録内容>

南三陸から

2011.3.11～2011.9.11

PHOTO LETTER FROM MINAMI SANRIKU BY SHINICHI SATO

あの日以来、多くの人が南三陸を訪れて、心を癒してくれています。本書にはその感謝の気持ちをいじょうに、ありがたうございます。私は町の小さな写真家の二日目。皆さんに支えられて今日まで頑張ってきました。先日、私の撮影した普通の写真を見た方がいらした。ガレキの中が探した一枚の写真と私に見せ「おどろかされた生き物や何かと文句に聞かれました。不意に涙がこぼれ落ちました。私の店も家もすべて壊されたけど、この町に生かされた写真家がいます。それはやはり写真で悲しい事、辛く感じています。写真はありのままを写す。時に辛い場面も写す。だから書くのも辛いし、心を癒すためにカメラを切り、その心に決めました。かけがえのない小さなひとと人の心の強さを伝えるために、今こそ写真で未来を築きます。写真の力を信じて...

収録写真 南三陸 佐藤信一



写真
佐藤
信一

<写真集概要>

『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』

著者:佐藤信一

オフィシャルサイト URL:

<http://www.minamisanriku-kara.com/>

体裁: B5判 / 96ページ

刊行日: 2011年9月27日

定価: 1,500円(税別)

* 1冊につき 300円を南三陸町に寄付。

発行: ADK 南三陸町復興支援プロジェクト

発売: 日本文芸社

